

「世界同時金融危機」



拝復。熊谷 38.5 度。外を見るだけであまりの日差しに目が痛くなります。サングラスが必需品と感じます。節電をしなければならないご時勢ですが、**子供、病人、お年寄り**は除外して考えましょう。子供は体温の調節機構が未熟ですぐに熱中症にかかりやすい。病人は体力がない。高齢者は熱に対するからだの感度が落ちているので自覚症状が少ない。私も両親に「節電はしなくて良い」と伝えました。体力のある世代が頑張って節電をしましょう。

さて今回の話題は「世界同時金融危機」と題してお送りします。当初は先号に引き続き「facebook」の機能面について書く予定でしたが、予定を変更しました。世界は今、2008 年以上の金融危機に直面しています。米国、ユーロ、日本。世界の三大市場が同時に崩れるという危機が直前に迫っています。もちろん、日本経済新聞社を中心としたメディアはこんな書き方をしません。書いたらどうなるか知っているからだだと思います(もしかしたら本当は知らないのかも)。

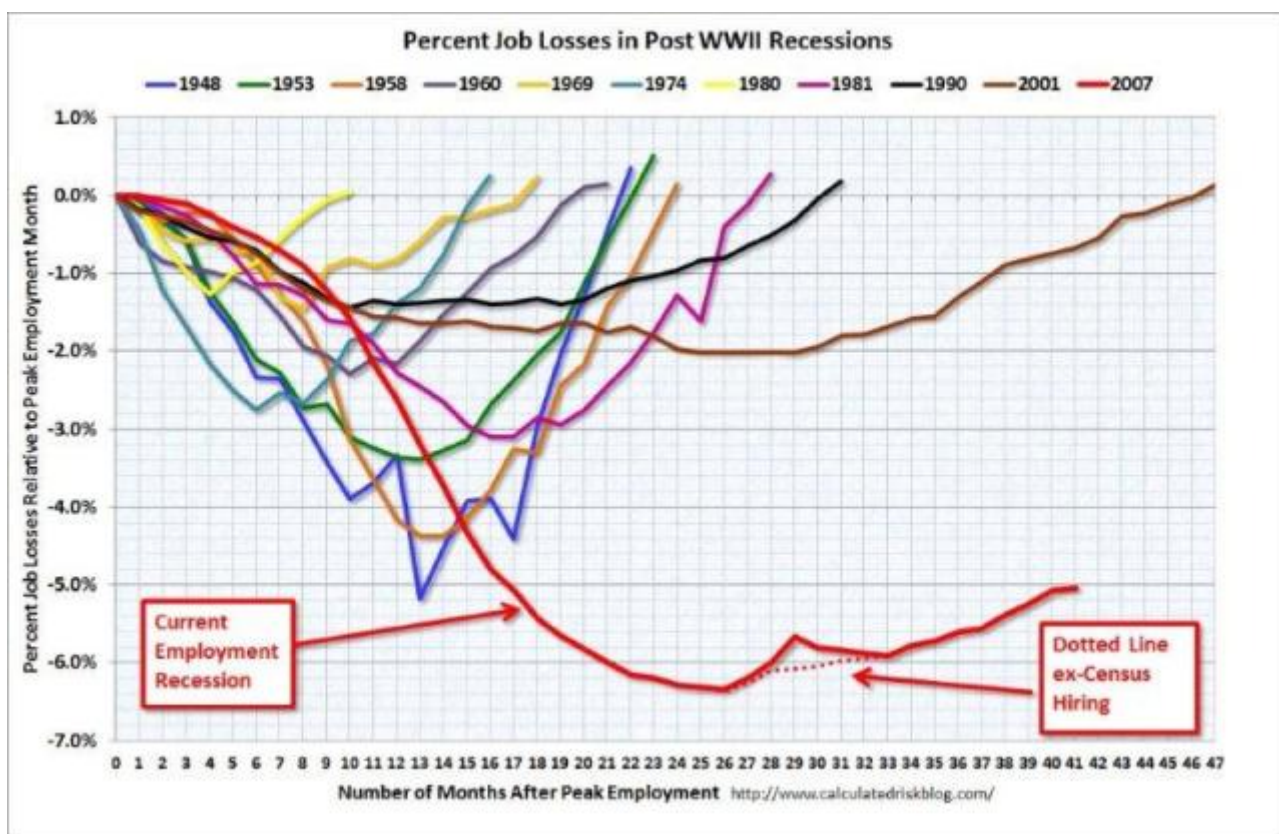
表面的には二つの危機が見えています。

- 1、ギリシャの債務不履行を中心としたユーロの危機です。ブログでもお伝えしましたが、ギリシャが金融危機を起こしてから既に 2 年が経とうとしています。この 2 年間ギリシャは何も出来なかった。本来であれば、**緊縮財政を実行し、公務員の給与カット、国営企業の民営化(上場)**を起こさなければならなかった。しかし国民の強い反発にあって何も出来なかった。今のギリシャに債務を返済する力はない。本来であればユーロの中央銀行 ECB が救済に乗り出さなければならない。ところがドイツがこの救済に強硬に反対をしているため、ギリシャに対しては債務の借り換え(繋ぎ資金)の融資しかできなかった。パパンドレウ首相は綱渡りの政局運営で上記の実施を国際社会に約束をした。しかし、**その実現性が低いことを相場は見通しています**。これが今起きているギリシャ国債の暴落です。20%の金利をつけても誰も買い手がない。また買ってもらったとしても、5 年後に 20%の利子をつけて返済しなければならない。**生活の危機に際して銀行への借金を消費者金融からのお金で返済をしているようなもの**です。こんな生活をして立ち直る家庭はない、とっていい。つまりギリシャ国債は暴落の危機直前です。

ギリシャ国債が暴落した瞬間に、スペイン・ポルトガル・イタリアの多くの銀行が破綻します。高利のギリシャ国債をたくさん持っているからです。これがユーロの危機です。

2、米国債のデフォルトの危機

米国では新たに国債の上限を超えて発行する際には議会の承認が必要となります。中間選挙で下院の安定多数を持っている共和党がこの承認を頑として受け付けません。このままでは8月の中旬に迫った次回の米国債の償還ができなくなります。デフォルトです。世界の基軸通貨であるドル＝米国が財務破綻するのです。国際社会の常識からいって考えられないのですが、米国共和党はどうやら、「一回 破綻させてもいいんじゃない」と考えているようにしか見えないのです。国家財政の危機に加えて実体経済が痛んでいます。昨日、FRBの議長が「米国の雇用情勢は危機的な水準にある」と発言をしましたが、まさにその通りです。この表をご覧ください。Calculated Risk社が自社サイトで発表しているものです。つまり誰でも見える。



米国が今回直面しているリセッションは第二次世界大戦後のどの不況よりも長く、浮上のきっかけもつかめていません。この中には失業が二年を超え、就職を諦めてしまった人たちの数字は含まれていません。実体経済が良くないのです。

上記の二つ。ユーロの金融危機と米国の不況これが世界同時金融危機を引き起こす可能性があるのです。経済学を学ばれた方であればお分かりだと思いますが、長期金利と国債の利回りは反比例します。ギリシャの長期金利は今7%です。これは国債の価値が一年で7%落ち

のと同じことです。これが5年物だと大雑把ですが35%の暴落とほとんど同じことなのです。ドイツは同一通貨内での所得移転を拒んでいます。これはドイツ単体として考えれば当然の意見ですが、ユーロとして考えた場合には理解しがたい。これを拒むのであればユーロに参加をしなければ良かった。英国は今、心からほっとしているでしょう。

これが今、円が世界中で買われている（＝円高）理由となっています。考えてみればちょっと変です。**日本は、失われた10年、人口減少社会、超高齢化社会、先進国最悪の財政問題、さらに東日本大震災で40兆円もの損害を被った国**です。何でこんな国の通貨や国債が高く売れるのか。これを見ていただくだけで欧米の危機がいかに深刻かわかっていただけだと思います。**日本はまだまだと市場が認識しているのです。**

ではその円は＝日本の財政は本当に大丈夫なののでしょうか。従来、**日本の膨大な借金1000兆円は、95%を日本人が持っているから大丈夫だ、とするのが常識**でした。私もつい最近まではそう思っていました。ところが昨今の欧米の状況を反映して、今では**国債の買い手がどんどん欧米のファンド**に変わっています。郵貯はこの一年間で約10兆円の日本国債を売却しています。ベビー・ブーマーたちの定年退職でこれまで手付かずだった預金を取り崩し始めたからです。手元資金のほとんどを国債で持っている郵貯は、国債を売って資金調達をするしかないのです。

そうは言っても90%は日本人が持っているんだろう。多分大丈夫、とは言えない情勢です。なぜなら残り10%の持ち主が海外のファンドだからです。今は緊急避難的に円を買い日本国債を買っていますが、彼らの狙いは国債の利率ではありません。円高による差益が主目的です。短期の日本国債の金利は0.15%、ジョークのような低金利です。**狙いは短期の金融市場での円高による差益です。**この狙いはうまくいっています。

しかし、どこかでその行き過ぎた円高がストップした瞬間に、ファンドマネージャーたちは日本国債を一斉に売ります。おそらくは30倍のデリバティブをかけて。日本国内にその引き受け手がいません。日本国債は一気に暴落します。この暴落に耐えられない銀行は破綻するしかありません。政府は財源がないため、やがて財政破綻、デフォルトを宣告します。日銀が直接、政府から国債を買えばいいのですが、日銀法がこれを禁じています。

なぜこんなことが起きてしまうのでしょうか。3年前のリーマンショックを思い出してください。全く同じことが今度は国家を舞台に展開されようとしています。日本のバブルを見てみると今回の事態がいかにこれまでになかったものかがわかります。日本のバブルは主に土地や不動産に集中しました。しかし決済は現金や手形でした。この頃にはデリバティブという「金融派生商品」がありませんでした。またしても金融工学です。この金融

工学ですが、ほとんどはプログラムで人間の感情を全く考えずに自己の利益を極大化するためだけに動くコンピュータだと思ってください。「そんなことをしたら世界中の銀行が吹っ飛ぶよ」と我々が考えてもコンピュータには何の関係もありません。現金・債権・商品・ゴールド、お金に換算できるものであれば全てをプログラムに取り込みます。史上最高の値をつけたゴールドが買われているゆえんです。印刷されたお札は信用があるから価値があります。信用がなくなったら紙切れです。それなら現物資産のほうがいい。小麦・原油・とうもろこし、大豆。皆急激に値を上げています。もうお分かりですね。インフレが目の前に迫っています。

視点を変えます。これまで500年間の間に多くの経済が破綻しました。破綻のメカニズムは3つ（「国家は破産する」カーメン・ラインハート著 4200円 日経BP社）

- ①「**広範囲で長期的な資産価格の下落**」
- ②「**生産の落ち込みと失業の増加**」
- ③「**政府財務の急増**」

米国、ユーロ、日本で起きていることと全く同じです。しかも金融工学（デリバティブ）が絡んでいるだけ、短期間に大規模に発生します。

米国では住宅価格はバブル時の1/2、スペインは1/3。失業率はギリシャで16%、スペインでは20%（!）。1000兆円を越える日本の国家負債。3つの条件が国際化して現実となっています。もしかしたら今回はドイツが折れて、また米国共和党が折れて危機は乗り切ることが出来るかもしれません。しかし、肝心なことは「**何一つ変わっておらず、問題の先送りをしただけだ**」という点です。近い将来、ほぼ間違いなく起きるでしょう。皆さんはどうやって自分の生活を守りますか？国は頼りになりません。ペイオフも実施されます。

私？内緒です（笑）。でも大体わかつちやいますよね。私は資産ポートフォリオを新しい状況に対応できるように変えました。何とか夫婦二人が食べていけるお金を持って物価の安い国に行きます。出来れば60歳くらいまでは日本で仕事をしたいのですが、それまで待ってくれる時間的な余裕はなさそうです。いやはや、大変な時代になったものです。

今回のテーマはちょっとわかりにくかったかもしれません。2時間で書き上げました。「facebook」の素晴らしきパート2は次回のテーマとさせていただきます。大暑にご用心。

ブログも毎日更新しています！（週休二日で）（笑）。 <http://rresearch.blog103.fc2.com/>

株式会社 Bomb Marketing 〒185-0023 東京都国分寺市西元町 2-16-18 日建工事第一ビル 302

Tel : 042-300-0533 mobile : 090-7428-8999 mail : ryubon@kkd.biglobe.ne.jp